

令和6年度品川区いじめ根絶協議会（第1回）

議事録要旨

1 日時

令和6年7月8日（月）午前10時から午前11時30分まで

2 会場

教育文化会館 3階 第1講習室

3 内容

（1）品川区教育委員会教育長挨拶

（2）委員委嘱

（3）委員長指名

明石委員を委員長に指名した。

（4）○報告

今年度のいじめ対策について

ア 教育委員会より

イ 区長部局より

○協議

テーマ「早期発見・早期対応の連携のあり方について」 ～子どもたちが、いじめ問題を乗り越えられるように～

（5）品川区教育委員会教育次長挨拶

4 出席者

委員一覧のとおり

5 報告要旨

（1）いじめに関する説明と品川区の現状等について（教育総合支援センター指導主事）

・いじめの定義、類型、いじめ重大事態について説明

・品川区のいじめの認知件数、いじめ重大事態の発生件数について説明

（2）品川区教育委員会の取組について（教育総合支援センター指導主事）

・現在行っているいじめの取組（目安箱、まもるっち、アイシグナル、HEARTS 専用電話等）について説明

・令和6年度より開始しているいじめ予防プログラムの説明と学校の実施状況について説明

（3）区長部局（いじめ相談対策室）の取組について（総務課コンプライアンス推進担当課長）

・いじめ相談対策室の概要と取組（ポータルサイト、電話、手紙、メール、公式 LINE による相談受付・対応）、教育委員会を含む関係機関と連携したいじめ対策について説

明

- ・こども家庭庁のモデル事業「学校外からのアプローチによるいじめ解消の仕組みづくりに向けた手法の開発・実証事業」の取組（いじめ専門相談員養成講座等）について説明

- ・教育委員会との連携強化を目的として月1回実施する「いじめ対策協議会」について説明

- ・いじめ被害者等支援の取組について説明

（４） 質疑応答

（質問）令和5年度に発生したいじめ重大事態のうち、調査が終了している8件について共通していることはあるのか。

（回答）共通することとしては、学校の早期介入の在り方が重要であるということ。品川区で発生したいじめ重大事態のうち、被害児童・生徒が不登校になってしまうケースの割合が高いため、早期に学校が関わる必要があると感じている。教育委員会としては予防教育に注力し、いじめの未然防止に関する取組を進めている。

6 グループ協議

テーマ「早期発見・早期対応の連携のあり方について」 ～子どもたちが、いじめ問題を乗り越えられるように～

（１） 協議内容発表

- ・「つながり」という言葉がキーワードになった。地域の子どものつながり、教員と地域のつながり、教員同士のつながりを大切にしていくことが重要。また、保護者同士のつながりをもって、情報の共有や安心できる環境をつくることが早期発見・早期解決において大事であると感じた。（第1グループ）

- ・いじめを未然に防止していくことは重要であるが、子どもたちの人間関係において、トラブルを乗り越える力をどのように養うかを考えていく必要があり、保護者と共通理解をする必要があると感じた。また、品川区立小・中学校PTA連合会等で、保護者を含む周囲の大人を対象にいじめについて研修を行い、理解をしてもらう必要があるのではないかと。（第2グループ）

- ・いじめについて、協力したいという声が多くあるが、情報が分散されてしまい、情報が入ってこないということにもどかしさを感じている。関係各所で把握できている情報を共有できると良いのではないかと。また、いじめについての保護者間でのやり取り等、学校が直接介入しない部分について、弁護士や警察等が介入し調整する必要があると感じた。（第3グループ）

- ・いじめ防止対策推進法について、法律の趣旨や考え方等を保護者に理解していただくことが重要であり、啓発していく必要がある。学校がいじめに対してどのような考えで対応しているのかなども保護者に理解してもらうことが必要であると感じた。

（第4グループ）

（２） まとめ（明石委員長）

- ・つながりが大事。地域と家族のつながりを大事にしながら、家族内で問題を抱え込む

ことがないようサポートしていくことが必要ではないか。

- ・若い教員の中には、コロナ禍により学校現場での教育実習等を経験していない教員もいる。このような教員が子どもとの接し方等を相談しやすいような環境をつくるため、校内で交流を深める等、教員同士のつながりも大事にしてほしい。

- ・教育委員会と区長部局が定期的にいじめ対策に関する協議会を開催していることは素晴らしい。引き続き連携していじめ対策を行ってほしい。